**第6回　泉佐野丘陵地緑地 運営審議会**

日時：平成27年3月2日（月）10:00～12:00

場所：大阪府庁新館別館北館1階　会議室兼防災活動スペース3

出席委員（敬称略）

大阪府立大学大学院　生命環境科学研究科　教授　増田昇（会長）

大阪府立大学大学院　生命環境科学研究科　教授　下村泰彦

大阪市立大学大学院環境都市工学科准教授　嘉名光市

元大阪府立大学大学院　教授　前中久行

うみべの森を育てる会　代表　西台幸子

大阪ガス株式会社　　特任研究員　弘本由香里

泉佐野市都市整備部　部長　近藤幸信

泉佐野丘陵緑地パーククラブ　代表　松井弘

泉佐野丘陵緑地パーククラブ　副代表　山本喬

泉佐野丘陵緑地パーククラブ　事務局長　大家清信

◆欠席

大輪会　中村学

◆傍聴者

泉佐野丘陵緑地パーククラブ　1名

◆概要

1. 開会　　　　 　　 10:00～

2. 出席者紹介

3．報告案件　2件　 10:05〜

 　　①工事の進捗状況について（トイレ建築工事）

　　②プログラム活動報告（2月）について

4. 協議案件　3件　　 10:30〜11:45

①平成27年度　大阪府・パーククラブ活動計画（案）について

　　②平成27年度　運営審議会開催計画（案）について

　　③向井池周辺整備計画（案）について

5. 閉会 12:00

**＜報告案件1：工事の進捗状況について（トイレ建築工事）＞**

公園の中央口のトイレ建設について、事務局より報告。

・来園者が入口正面から入るとすぐにトイレが目に入るため、トイレを覆うように添え木を植えるとよい。

**＜報告案件2：プログラム活動報告（2月）＞**

パーククラブのプログラムについては山本委員より報告、大阪府のプログラムについては事務局より報告。

・インタープリター講習は有益である。来園者に公園の魅力をうまく伝えて知っていただくということは、公園の運営において今後さらに重視されることである。今後も精力的に取り組んでいただきたい。

＜**協議案件1：平成27年度　大阪府・パーククラブ活動計画（案）について＞**

平成27年度の大阪府とパーククラブの活動計画（案）について事務局と松井PC代表より説明。

・ホタルの観察場を整備する際は、周辺環境をしっかり調査した上で整備に着手したほうがよい。

・環境が変わったためにホタルがいなくなったということが、他の地域で起きている。慎重に進めていただきたい。

・来年度の活動骨子にあるＰＲの充実について。お客さんに公園へ繰り返して来ていただくためには、動植物や自然の特徴、整備の経緯に関する知識など、魅力を高めていける情報が山ほどある。どのような形が伝わりやすいかを検討する必要がある。例えば、冊子やスタンプラリー、クイズラリーなど、様々な方法が考えられる。

・特にリーディング区域における維持管理について。大阪府営公園の中では唯一の直営管理であるため、管理基準を明確にし、基準に則った管理を行っていただきたい。ごみや雑草などの処理、来園者の安全管理などに関する基準を明確にしておく必要がある。

・来園者がパーククラブの活動を目にした時、その場で参加しても問題のない活動と、参加しないほうがよい活動があるはずである。参加できる活動とそうでない活動を判断する基準を明確にしておくとよい。またいずれの場合も、活動場所周辺の安全確保に努めなければならない。

・パーククラブ5周年記念として、5年史の発行を計画している。写真を中心とした簡単な冊子を予定している。

・公園の愛称・ロゴ募集について。一般公募になると思うが、それで良いデザインが集まるとは限らない。デザイナーなど、専門性をもつ層から応募が集まるよう工夫する必要がある。

・公園の活用について。この公園は府営公園唯一の直営公園であることから、大阪府職員研修の場として1年に1度ほど使うことを検討していただきたい。

・企業の森への参加方法も検討する必要がある。来年度中に動けるよう準備していただきたい。社員のご家族も含めて、参加者の幅が広がるとよい。

・花苗ヤードが使えるようになることから、パーククラブの女性メンバーを中心に花を育てるチームを立ち上げることも検討していただきたい。

・植える場所を決めておけば、外来種でも育てることができる。逆に、外来種ではなくても持ち込んではいけない種もある。まずは植える場所を決めるとよい。

・パーククラブの樹木チームが樹木の育成地としている場所には、主にクヌギやコナラが生えている。これらに加えて、色々なドングリのなる樹類をお客さんに学んで欲しいことから、この公園では現在確認出来ていないマテバシイやシリブカガシを植樹したいと考えている。

・資料整理の仕方について。パーククラブの活動報告に一般参加者数の記載がある。それに加えて、年間でコトがいくつ起きて、それらに対する参加者数の推移も整理しておくとよい。

＜**協議案件2：平成27年度　運営審議会開催計画（案）について＞**

平成27年度の運営審議会の開催計画（案）について事務局より説明。

・検証、評価について。この公園は、他18ヶ所の府営公園と同じ評価項目ではなく、つくり続ける公園として別の評価項目を検討する必要がある。

・中地区へのアクセス検証について。泉佐野市のコミュニティバスが、土曜日に4便が運行可能となる予定である。予算の承認や国土交通省の許可などの関係から、平成27年秋頃の開始を予定している。

・公園案内に関して。パークセンターにタブレットの導入を検討するよい。園内散策や花の記録と紹介において有用であるし、広報媒体としても役に立つ。

＜**協議案件3：向井池周辺整備計画（案）について＞**

向井池周辺整備計画（案）について事務局より説明。

・拠点施設は、夜間も開放したままにする予定である。冬期の寒さが厳しい時期は閉めるが、夏場は常に開放する。

・施工開始は平成27年秋頃を予定しており、利用開始は平成28年春頃を予定している。

・扉の多い施設なので、内部から見た時の戸の閉まり方を工夫する必要がある。

以上